

---

---

# 中小企業基盤整備機構の出資する 地域中小企業再生ファンドの 概要と実績

平成17年6月20日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

## 1. 地域中小企業再生ファンドの特徴

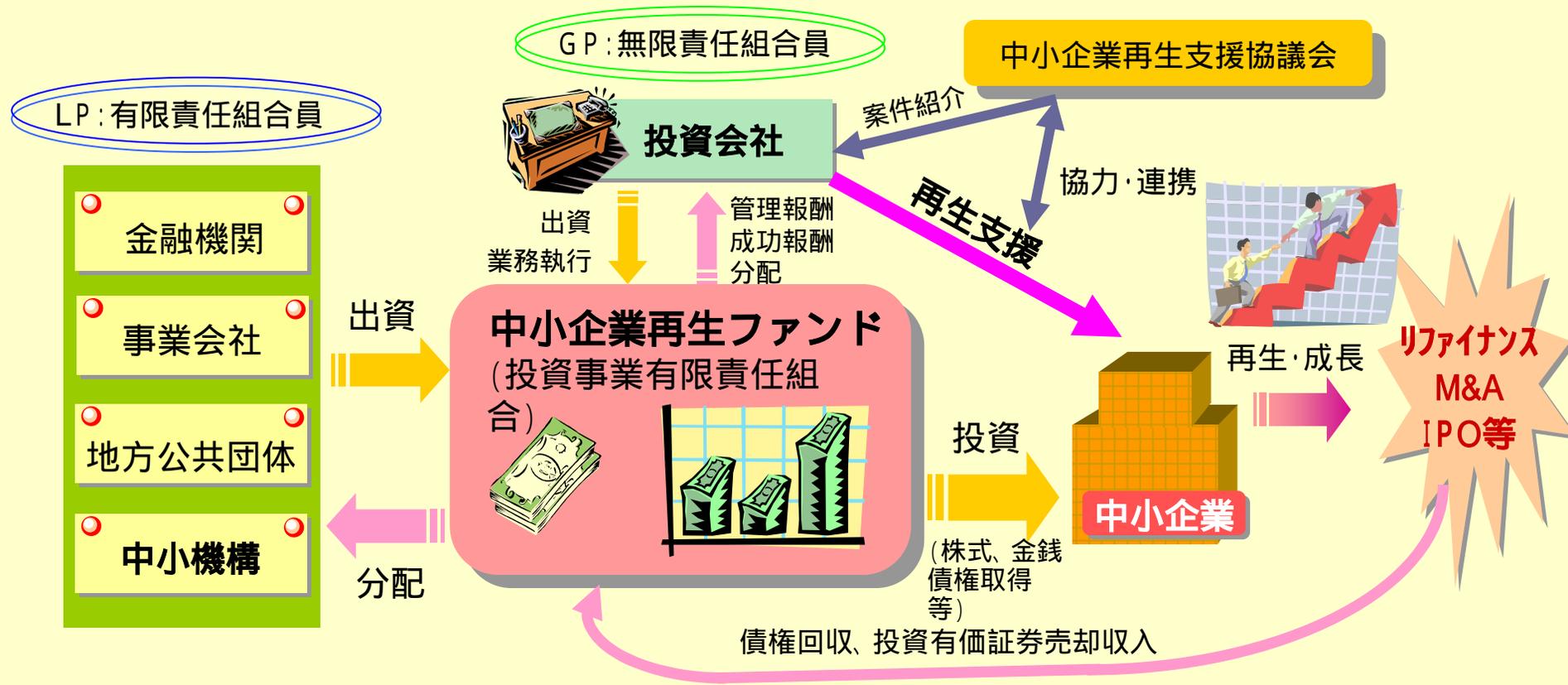
---

---

- ・ 地域の中小企業の再生を支援するため、地域金融機関等とともに組成するファンド
- ・ 短期的な収益獲得ではなく、中長期的に株式、債権を保有、ハンズオン支援を実施し、本格再生まで継続的に支援
- ・ 地域の中小企業再生支援協議会との連携による案件選定・再生支援
- ・ 中小機構がファンド総額の1 / 2以内出資
- ・ ファンドは投資事業有限責任組合方式で、存続期間は7年間(最大3年延長可能)

地方公共団体と併せて1/2まで出資可能

## 2. 地域中小企業再生ファンドスキーム



### 3. 地域中小企業再生ファンドの組成実績

平成17年6月20日現在

	大分県	静岡県	茨城県	栃木県	島根県鳥取県	高知県	愛知県	愛媛県	合計
ファンド名	大分企業支援 ファンド	静岡中小企業 支援ファンド	茨城いきいき ファンド	とちぎ中小企業 再生ファンド	山陰中小企業 再生支援ファン ド	南国土佐再生 ファンド	愛知中小企業 再生ファンド	えひめ中小企 業再生ファンド	
組成時期	H16.1月	H16.3月	H16.4月	H16.10月	H16.12月	H17.3月	H17.3月	H17.6月(予定)	
ファンド総額 (うち中小機 構出資額)	50億円 (22.5億円)	40億円 (15.0億円)	30億円 (13.7億円)	50億円 (25億円)	20億円 (10億円)	20億円 (10億円)	28.2億円 (14.1億円)	30億円 (15億円)	268.2億円 (125.3億円)
投資先数	10社	6社	1社	1社	3社	0社	(1社) (6月決定予定)	-	21社 (6月中に22社)
無限責任組 合員	大分ベンチャーキャ ピタル(株) (0.5億円)	静岡キャピタル(株) (1億円)	いばらきクワイ ェイト(株) (0.3億円)	(株)とちぎイン ベストメン バーナース (0.5億円)	ごうぎんキャピ タル(株) (0.4億円)	四銀キャピタルリ サーチ(株) (0.2億円)	(株)リ ューン シ ョ ン テ ィ ン ザ ィ ン (0.5億円)	(株)えひめ・リ バ ィ タ ル ・ マ ネ ジ メ ン ト (0.3億円)	
有限責任組 合員(中小機 構除く)	大分銀行 (20億円) 豊和銀行 (5億円) 大分みらい 信用金庫 (1億円) 三和酒類(株) (1億円)	静岡銀行 (10億円) スルガ銀行 (2億円) 清水銀行 (3億円) 静岡中央銀行 (1億円) その他10信金 (8億円)	茨城県 (1億円) いばらきイクイ ティ(有) (15億円) 匿名:常陽銀行 (8億円) 匿名:関東つくば銀行 (2億円) 匿名:茨城銀行 (1.5億円) 匿名:その他3信金組 (3.5億円)	(有)栃木フィナン シャルキャ ピタル (24.5億円) 匿名:大和証券SMBC ブリッパ ル・イン ベストメン ツ(株) (5.3億円) 匿名:足利銀行 (7.5億円) 匿名:栃木銀行 (7.5億円) 匿名:その他9信金組 (4.2億円)	山陰合同銀行 (6.8億円) 島根銀行 (0.5億円) その他8信金 (2.3億円)	四国銀行 (7.8億円) 高知銀行 (2億円)	UFJ銀行 (3億円) 名古屋銀行 (3億円) 愛知銀行 (1.5億円) 中京銀行 (1.5億円) その他15信金 (4億円) 事業会社6社 (0.6億円)	伊予銀行 (8億円) 愛媛銀行 (4億円) その他5信金 (0.7億円) (有)リ バ ィ タ ル ・ サ ポ ー ト (2億円)	

#### 4. 地域中小企業再生ファンドの投資状況

---

---

- ・ 中小機構の出資するファンドでは、これまでに21社に対し投資決定を行っている。
- ・ 投資手法の内訳は、  
株式取得15件、社債取得6件、融資3件、債権買取10件。  
( 1社に対し、複数の投資手法を行う場合もある )
- ・ これらの投資においては、短期的な収益獲得を目的とせず、中長期的に株式、債権等を保有することを前提としている。
- ・ また、綿密な経営支援を実施しているところ。

## 5. 地域中小企業再生ファンドの投資事例

---

---

# 地域中小企業再生ファンドの投資事例

- < 投資事例 1 > (株)東洋サッシ工業 (大分県)
- < 投資事例 2 > ハルナ(株) (大分県)
- < 投資事例 3 > タナベ(株) (大分県)
- < 投資事例 4 > (株)A社 (静岡県)
- < 投資事例 5 > (有)B社 (静岡県)

# < 投資事例 1 > (株)東洋サッシ工業 ~ 大分企業支援ファンド ~

第139号案件

大分県協議会による再生計画策定支援

投資決定日:H16.6

ファンドによる再生支援

## 財務支援

社債の取得  
(新規事業の設備投資及び新規・既存事業の運転資金に充当)

## ファンドマネージャー等による経営支援

新製品の拡販のため、取引先の紹介や地元紙への売り込みを行うなどの営業活動を支援。

工場の工程見直しについて、具体的なプラン作りから実際の業務への反映まで一貫して指導。

保険料等の特殊経費の見直しについて、知見や人脈を有するファンドの担当者が指導。

## 【直近の状況】

売上高、利益とも順調に推移。

新規事業は順調に立ち上がり、経費削減等の効果も出てきた。

ファンドの支援により資金繰りに余裕ができ、社長が営業活動

の陣頭指揮をとる体制が実現。

## 計画達成状況(実績/計画)

H17.3期

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
87(%)	109(%)	178 (%)	375(%)

# < 投資事例 2 > ハルナ(株) ~ 大分企業支援ファンド ~

第191号案件

大分県協議会による再生計画策定支援

ファンドによる再生支援

投資決定日:H16.7

## 財務支援

既存債権者から債権を買い取り、  
一部債務免除を実施

営業譲渡受皿会社への出資・社債  
取得

## ファンドマネージャー等による経営支援

ファンドから取締役を派遣

従業員教育や社内管理体制整備についてアドバイス

会計事務所と共同して月次決算体制づくりを支援

ファンドの斡旋により大分大学との共同開発が実現

新床材の事業化に向けて、社内体制づくりや販売戦略構築についてのノウハウを提供。

## 【直近の状況】

売上高、利益とも順調に推移。

ファンドの支援により営業力が強化され、新規取引先が実現し、韓国への拡販を展開中。

## 計画達成状況(実績/計画)

H17.3期

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
174 (%)	243 (%)	331 (%)	100%超

# < 投資事例3 > タナベ(株) ~大分企業支援ファンド~

第269号案件

大分県協議会による再生計画策定支援

ファンドによる再生支援

投資決定日:H16.7

## 財務支援

株式、社債の取得  
(民事再生法適用親会社保有株式取得代金及び長期運転資金に充当)

## ファンドマネージャー等による経営支援

社員持株制度創設等を提案するなど、社員のモチベーション向上策をアドバイス

月次の管理体制構築をメイン行と協力して支援

毎月、当社経営陣、取引金融機関、ファンド担当者による経営会議を開催し、計画達成状況の把握と今後の方向性についてアドバイス

## 【直近の状況】

売上高、利益とも順調に推移。

ファンドの支援により、親会社の法的整理に伴う風評被害を排除でき、経営基盤の強化と対外的な信用向上につながり、売上が維持できている。

## 計画達成状況(実績/計画)

H17.3期

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
101 (%)	88 (%)	76 (%)	100%超

業種:身の回り品製造業  
借入により新工場を建設したが成長見通しが狂い過剰債務状態。

静岡県協議会による再生計画策定支援

第140号案件

ファンドによる再生支援

投資決定日:H16.5

### 財務支援

金融機関から債権を買い取り、一部債務免除や元本返済猶予及び金利の減免を実施する。

### ファンドマネージャー等による経営支援

ファンドから中小企業診断士を派遣し、半年間に渡り受発注システム導入等に関する社内人材教育を実施

技術士を派遣し、毎月1回、生産ライン効率化を指導

金融機関OBをコンサルタントとして常駐させ、コスト見直しや管理会計を指導

毎月、A社社長、取引金融機関、ファンド担当者による経営会議を開催し、計画達成状況の把握と今後の方向性についてアドバイス

### 【直近の状況】

売上高、利益とも順調に推移。

ファンドの支援により資金繰りが解消し、社長自ら営業に注力できている状況。

某研究機関と共同研究し、自社ブランド製品開発を展開中。

### 計画達成状況(実績/計画)

H17.3期

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
92 (%)	101 (%)	184 (%)	280 (%)

業種:木工家具製造業  
取引先倒産を要因とする  
過剰債務により、実質債務  
超過状態。

静岡県協議会による再生計画策定支援

第376号案件

ファンドによる再生支援

投資決定日:H17.2

財務支援

金融機関から債権を買い取り、一部  
債務免除や元本返済猶予及び金利の  
減免を実施する

ファンドマネージャー等による経営支援

協議会の窓口専門家(中小企業診断士)とファンドが連  
携し、新規設備投資の具体化と投資効果を検討

設備投資に必要な資金調達策として、取引金融機関と  
ファンドが一体となって保証協会と交渉し、新規保証を実  
現

毎月、B社社長、取引金融機関、ファンド担当者による  
経営会議を開催し、計画達成状況の把握と今後の方向性  
についてアドバイス

【直近の状況】

売上・利益ともに、ほぼ順調に推移。

毎月の経営会議が好影響となり、週1回、社員全員が自発  
的に目標設定と達成に向けた取り組み方針を議論。会社全  
体に改善意識が醸成されつつある。

計画達成状況(実績/計画)

H17.4月

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
101 (%)	105 (%)	100 (%)	- (%)